

洋書輸入協会会報

VOL. 24
NO. 3

(通巻275号) 1990年 3月

理事会報告

1月26日(金)

(一) 11月分収支計算・予算対比表

12月8日(金)に開催された総務委員会での検討にもとづく松井幸雄氏(丸善)の報告を承認した。

(二) 会員名の変更

業務上の取扱いの変更による会員名の変更を承認した。

新会員名 メイナード出版株式会社

旧会員名 インターナショナル・ラーニング・システムズ(ジャパン)リミテッド

(三) 新年懇親会

文化厚生委員会武田全弘氏(三洋出版貿易)から、1月8日(月)東京プリンス・ホテルで開催された新年懇親会には77社196名、その他3名、合計199名の出席者のあったことが報告され、予算上の措置について了承された。

(四) フランクフルト日本年委員会

上記委員会(委員長 服部敏幸氏)から海老原理事長に対し同委員会の委員に就任されたいとの要請があり、受諾したことが報告された。

(五) 第一回東京国際書籍展

広報委員長佐々木大刀夫氏(第一出版貿易)から、

カーナース社との接衝の結果、ブース代のほかディスプレイ、看板料も無料となったので、JBIAの負担は協会の宣伝資料費のみとなり、会場配布用およびフランクフルト書籍展用として会員名簿(グイレクトリーから抜粋)を2,000部作成することが提案され、予算上の措置も含めて承認された。

会期中JBIAのブースに3名ほどの常駐が必要であり、会員の協力が要請された。また小林英一理事長代理がセミナーの講師を引きうけたこと、およびガイドブックに理事長のメッセージが掲載されることも報告された。

(六) 消費税

12月18日(日)に消費税特別委員会がひらかれ、会員に文書を配布したことが報告された。(JBIA No.591参照)

(七) パソコン保有状況の調査

渉外委員長山川隆司氏(ユサコ)から、昨年開催して好評であったCD-ROMセミナーにひきつづき、要望の強い実務者対象のセミナーを開催するため、その準備段階として会員のパソコン保有状況を調査(無記名)したいとの提案があり、了承された。

(八) その他。

理事会報告	1	新入会員のおしらせ	5	計報	7
海外ニュース	2	東京の橋と文明開化(1)	6	広 告	8
1989(平成元)年1~12月		お知らせ	7		
洋書輸入通関統計とその分析(前編) ...	3	海外ニュース	7		

2月16日(金)

(一) 12月および1月分収支計算・予算対比表

2月13日(火)に開催された総務委員会での検討にもとづく松井幸雄氏の報告を承認した。

(二) 入会申込み(正会員)

下記の入会を承認した。

有限会社インターナレッジ・ブックス(代表者 塚本正広 新宿区高田馬場2-5-21 和田ビル102号 電話03-205-4651)

(三) ダイレクトリー'90

扉、目次、JBIAの案内等の英文原稿について各理事の意見を2月20日までに事務局へ連絡することとなった。

(四) シンガポール・ミッション

東京国際書籍展に参加するのを機会にJBIAと話しあいたいとの希望がよせられているので、3月1日(火)11時から12時までセミナー会場で話しあうこととなった。代表団は出版社9社、印刷会社13からなっている

(JBIA No.595参照)。

(五) 予算編成

総務委員会松井幸雄氏から3月23日(水)の総務委員会での予算の編成を始めるので、意見があれば提出するよう要請された。

(六) 第一回東京国際書籍展

広報委員長佐々木大刀雄氏から2月15日(火)に広報委員会をひらいて細部にわたって検討したことが報告された。会員名簿(和英文)を2,000部作製中であることが報告され、原稿が回覧されたが、若干の意見が表明された。ブースには最低3名が広報委員会からつめることが報告された。ブースには、主要6ヵ国の通関統計、日本地図に大学所在地を示して掲示することが報告された。広報委員会で会員に知らせる原稿がよみあげられ、了承された。(JBIA No.594参照)

(七) 総会

日どりについて検討した。

(八) その他。

海外ニュース

「マグローヒル社が一般書部門を閉鎖」

McGraw-Hill社は組織再編成にともなって59年の歴史をもつ一般書部門を他社に売却するか閉鎖するかを検討中であったが、ついに閉鎖することを決定した。これにより年商約2億2千万ドルと約1,000人の職が無くなることになる。

McGraw-Hill社は1909年創立で同社の一般書部門は1930年に発足している。学術・専門書、教科書などが主体の同社にとって一般書の比重はきわめて低いが、それでも約2千点のバックリストを有している。1988年8月に同部門の売却または閉鎖を発表して以来新原稿は募集しておらず、1988年約100点、1989年85点と出版点数を減らしてきた。その点では閉鎖は比較的スムーズに行われそうである。(PW. 12月22日号より)

「マードック氏の資金源」

アメリカのハーバー・アンド・ロウ社やイギリスのコリンズ社などを次々に買収して乗っ取り魔の名をほしいままにしていたルバート・マードック氏は、投資のための資金繰りを行うべくメディア・パートナーズ・インターナショナル(MPI)を設立しようとしたが、これに失敗した。

その結果でもあるまいが、マードック氏は新しい提携先を探し出し、オーストラリアに本拠地を置く国際的な配送業者として知られるTNTに、ハーバー・アンド・コリンズ社の50%を売り渡した。

なお、ニューヨークのハーバー・アンド・コリンズ社のスポークスマンによれば、この取引は、出版社の日常の活動には何ら影響を及ぼさないという。(BPレポート、2月5日号より)

一併紀伊國屋書店提供一

1989（平成元）年 1～12月、洋書輸入通関統計とその分析（前編）

洋書輸入協会顧問 相 良 廣 明

大蔵省関税局から、1989（平成元）年 1～12月の日本貿易統計が発表されたので、その中の洋書関係の数字をピックアップして表示すると共に、若干の分析を試みたい。

1. まえがき

周知の通り、1988年 1月より、'87年まで使用されていた関税協力理事会品目表（略称CCCN）に替えて、新たにHS条約による品目表が導入された。

この変更の最大の眼目は「貿易関係商品分類の国際的統一を図ること」にあり、そのために従来よりも合理的に改善されたところもあれば、日本の商習慣にそぐわない変更もある。詳細はJBIA会報Vol.23 No.3、1989年 3月号所載「1988（昭和63）年 1～12月、洋書輸入通関統計とその分析」を参照頂きたい。

2. 1989年 1～12月、書籍、雑誌の輸入通関統計表

（表 1）書籍

（単位 百万円）

品 名	'88.1～12月 価 額	'89.1～12月 価 額	前年比	構成比
			%	%
単一シートのもの	324	320	99	1
辞典及び事典	427	673	158	3
その他のもの	22,392	26,188	117	96
計	23,143	27,181	117	100

（注 1） 書籍とは、「印刷した書籍、小冊子、リーフレットその他これらに類する印刷物（単一シートのものであるかないかを問わない）」を対象とする。

（注 2） 単一シートのもものは、折り畳みであるかないかを問わない。この分類は'88より新設のもの。

（注 3） 辞典及び事典には、シリーズの形式で発行するものを含む。この分類は'88より新設のもの。

（注 4） 「その他のもの」が、いわゆる一般の書籍である。

（表 2）新聞・雑誌その他の定期刊行物

（単位 百万円）

品 名	'88.1～12月 価 額	'89.1～12月 価 額	前年比	構成比
			%	%
一週に 4 回以上 発行するもの	3,356	225	7	2
新 聞	29	20	69	0
雑誌その他の 定期刊行物	10,206	13,838	136	98
計	13,591	14,083	104	100

（注 1） 新聞、雑誌その他の定期刊行物は、挿絵を有するか有しないか、または広告を含んでいるかいないかを問わない。

（注 2） 「一週に 4 回以上発行するもの」は、'88より新設のもの。新聞ではない。

〔分析〕

「一週に 4 回以上発行」されて、新聞でないものがさほど多い訳がなく、'88に 33.56億円もあったものが 2.25 億円に激減したのは、むしろ当然と思われる。

新聞は、'87に 3.86億円あったものが、CCCNより HCへ変更になった'88に、前年比 8 %の 2,900 万円へ激減したので、この激減分は新設の「一週に 4 回以上発行」の方へ廻ったのかと思われた。ところが'89の新聞は更に減少して 2,000 万円となり、「一週に 4 回以上発行」のものも前述のように激減してしまった。

そもそも新聞とか雑誌のような定期刊行物は、毎年そんなに変動するものではないはずであるが、それがこのように激減しているのは不可解としかいいようがない。強いていえば、「一週に 4 回以上」も「新聞」もすべて「雑誌その他の定期刊行物」の中に含め、合計 4 %アップとして考えるとよいかと思われる。それにしても「新聞」の輸入が年間 2,000 万円とは、常識的に言ってもあまりにも少なすぎるのではなからうか。

(表3) 書籍・新聞・雑誌の合計額

(単位 百万円)

品 名	'88.1~12月 価 額	'89.1~12月 価 額	前年比	構成比
書 籍	23,143	27,181	117	66
新聞・雑誌	13,591	14,083	104	34
計	36,734	41,264	112	100

(注1) 価格はCIF又はC&Fである。

(注2) 小額貨物の20万円以下は含まれていない。

(注3) 書籍は、現品入荷月の15日までに届出が行われるため、入荷より平均1ヵ月の遅れで計上されている。

(注4) 雑誌は、最終号が到着したと認められる時点において届出が行われるため、初号入荷時よりも約1年遅れで計上されている。

〔分析〕

1989年は、書籍17%アップ、新聞・雑誌4%アップと、少々アンバランスではあるが合計で12%アップである。割合に良い実績であった。これを第4項の「貿易統計作製のための米ドル換算表」と、次号に掲載する「主要6ヵ国為替相場の前年比」とを勘案し、各国の輸入価額の総額に対する構成比によって加重平均すると、年間各国統計で、2.9%の円安になっている。即ち書籍・新聞・雑誌の輸入総額の12%アップのうち、3%程度は円安の影響によるものである。

3. 最近10年間の推移一覧

(表4) 1980~'89年書籍・新聞・雑誌輸入通関統計推移表

(単位 百万円)

暦年	書 籍			新聞・雑誌(注)			計		
	価 額	前比	指数	価 額	前比	指数	価 額	前比	指数
1980	23,018	105	100	11,242	118	100	34,260	109	100
'81	19,071	83	83	9,133	81	81	28,204	82	82
'82	21,285	112	92	11,259	123	100	32,544	115	95
'83	20,028	94	87	11,130	99	99	31,158	96	91
'84	20,874	104	91	11,006	99	98	31,880	102	93
'85	21,897	105	95	11,087	101	99	32,984	103	96
'86	18,174	83	79	9,837	89	88	28,011	85	82

'87	21,461	118	93	12,339	125	110	33,800	121	99
'88	23,143	108	101	13,591	110	121	36,734	109	107
'89	27,181	117	118	14,083	104	125	41,264	112	120

(注) 1988年から、雑誌に新聞が含まれたため、'87以前の雑誌欄の数字は、すべて新聞含みの数字に訂正してある。

〔分析〕

書籍は、'87より3年連続しての成長の結果、'89において過去最高となった。これまでの最高は'77の234.7億円であった。

新聞・雑誌は、'87において過去最高となったものが、'88、'89と連続して記録を更新している。

合計額は、'88に'80に記録した342.6億円をやっと超え、'89はこれを大幅に更新して、初の400億円台に乗った。

書籍・新聞・雑誌の合計額で3年連続して成長したのは、このような形でデータを取り始めた1972年以来始めてのことである。洋書の業界の経営の困難さはこの一事をもっても知れよう。

'87~'89の3年連続の成長は、世間の好景気に支えられてのことであるが、一方で通関統計には現われない利幅の減少が指摘されている。

4. 貿易統計作製のための米ドル換算表

(表5) 1987~'89年、輸入統計における各月ごと米ドル換算表

(単位 円)

月	1986		1987		1988		1989	
	輸 入	前年比 切上率	輸 入	前年比 切上率	輸 入	前年比 切上率	輸 入	前年比 切上率
		%		%		%		%
1月	202.07	19.8	159.01	21.3	126.01	20.8	125.64	0.29
2月	193.53	24.6	152.70	21.1	128.57	15.8	128.49	0.06
3月	180.21	30.8	153.47	14.8	128.72	16.1	128.00	0.56
4月	178.62	29.8	146.97	17.7	125.64	14.5	132.12	△5.95
5月	167.08	33.5	139.91	16.3	124.76	10.8	133.78	△7.23
6月	169.29	32.4	142.58	15.8	125.23	12.2	143.06	△14.24
7月	163.17	33.7	147.81	9.4	131.40	11.1	141.60	△7.76
8月	155.04	34.8	150.83	2.7	133.12	11.7	140.29	△5.39
9月	154.66	35.3	143.02	7.5	134.21	6.2	145.10	△8.11
10月	154.23	30.3	144.59	6.3	132.58	8.3	142.58	△7.54
11月	160.34	23.4	138.52	13.6	125.36	9.5	142.67	△13.81
12月	162.73	19.7	132.65	18.5	122.21	7.9	143.83	△17.69

(注) △印は前年同期比切り下げ率

〔解説〕

切り上げ（切り下げ）率算出法

$$\text{切り上げ率} = \frac{\text{前年同期} - \text{当年}}{\text{前年同期}} \times 100$$

貿易統計は、税関に提出される輸出入申告書による申告価格を、税関長が毎週に公示する相場により円ベースに換算し、これらを基礎資料として集計されている。

上記の表は、この換算を各月毎にまとめたもの。（外国貿易概況より）

〔分析〕

米ドルが前年同月比で円高に転じたのは、1985（s60）年8月からであるが、以降'89、3月まで実に44ヵ月間も円高が継続した。ところが'89、4月以降は円安に転じてこれが続いている。

5. 1989年1～12月、主要6ヵ国の輸入通関統計表

（表6）書籍

（単位 百万円）

国名	単 価	辞・事典	その他	計	前年比	構成比
					%	%
米	165	161	10,548	10,874	127	40
英	16	370	6,559	6,945	118	26
西独	20	30	3,160	3,210	96	12
仏	15	14	1,028	1,057	105	4
オランダ	2	9	927	938	90	3
スイス	3	6	655	664	106	2
小計	221	590	22,877	23,688	116	87
その他	99	83	3,311	3,493	132	13
計	320	673	26,188	27,181	117	100

（表7）新聞・雑誌

（単位 百万円）

国名	週4回以上	新聞	雑誌	計	前年比	構成比
					%	%
米	137	8	5,566	5,711	112	41
英	1	3	2,955	2,959	108	21
西独			1,330	1,330	90	9
仏			567	567	110	4
オランダ			1,662	1,662	90	12
スイス			533	533	90	4
小計	138	11	12,613	12,762	104	91
その他	87	9	1,225	1,321	102	9
計	225	20	13,838	14,083	104	100

（表8）書籍、新聞・雑誌の合計額

（単位 百万円）

国名	書 籍				新聞・雑誌(注)				計			
	価 額	前比	構成比		価 額	前比	構成比		価 額	前比	構成比	
		%	%			%	%			%	%	
米	10,874	127	40		5,711	112	41		16,585	121	40	
英	6,945	118	26		2,959	108	21		9,904	115	24	
西独	3,210	96	12		1,330	90	9		4,540	94	11	
仏	1,057	105	4		567	110	4		1,624	107	4	
オランダ	938	90	4		1,662	90	12		2,600	90	6	
スイス	664	106	2		533	90	4		1,197	99	3	
小計	23,688	116	87		12,762	104	91		36,450	111	88	
その他	3,493	132	13		1,321	102	9		4,814	122	12	
計	27,181	117	100		14,083	104	100		41,264	112	100	

〔分析〕

米国の21%アップのうち、3%程度は円安によるアップであろう。（表9参照）

英国の構成比が20%に達したのは、この通関統計で英国の構成比を算出し始めた'73年以来では、'86が最初である。

そして英国は、'87は23%、'88は25%と順調にシェアを拡大し、'89は24%となつてはいるが、Stg.£は0.23%の円高（表9参照）となっている中でのこの実績であるので、健闘しているといつて良い。（次号に続く）

新入会員のおしらせ

このたび下記のかたが入会されましたのでおしらせします。

正会員

有限会社 インターナレッジ・ブックス

代表者 塚本正広

〒169 東京都新宿区高田馬場2-5-21

和田ビル102号

Tel. (03)205-4651

Fax. (03)205-2272

江戸橋と近代郵便制度の発祥

丸善・本の図書館 鈴木 陽 二

日本橋川の川と橋がかもしだす情趣は、いまはすっかり失われてしまった。江戸橋は、昭和通りという都心の幹線道路がこの日本橋川を跨ぐ重要な位置にあるが、首都高速が重なり、のたくりながら空をかくし、まさに交通の機能性のみがむきだした橋になってしまった。かつて江戸橋は、日本橋川と楓川（現在首都高速環状線）が合流するあたり、いまより200メートル程下流にかかっていた。永井荷風は、この両川の形造る美しい情景の、江戸橋からの眺めを賞翫した（「日和下駄」）。「江戸名所図会」には、江戸橋辺りを行き交う人々の賑いがあり、田山花袋も「東京の三十年」で、橋詰めに露店や屋台がでて繁昌していた様子を記している。いまは、想像するよすがもない。

ところで、広重の「東京名所 郵便局江戸橋図」を見ると、橋門構は石造りで二連のアーチをもつ、いわゆる眼鏡橋の構造で（いまは橋脚のみ石造り）、南詰辺にはしょう洒な洋館が望まれて大変ハイカラな一かくなっている。この洋館が近代郵便制度発祥の基地、駅通寮（郵便局）である。日本の近代的郵便制度は、明治4年、時の駅通頭であった前島密（1835～1919）によって確立されたものであるが、いま、日本橋郵便局の正面入口に彼の胸像と「郵便発祥の地」の碑文を見ることができる。

前島は、明治3年、駅通権正に就任して間もなく欧米への視察旅行にでかけ、郵便事業の調査、研究に取組んだ。その結実が日本の近代郵便制度として発足したものである。明治国家がスタートしてから、欧米列強と互するために近代化を急ぎ、挑戦した日本の姿が、郵便にまつわる逸話にもかい間みることができる。こんな話がある。いまでこそ、郵便物に切手を貼ってだす仕組みを不思議に思う人はいない。しかし、当初、それさえも考え及ばない。たまたま洋行帰りの渋沢栄一がフランスの切手一葉をもって、それを貼ることはわかったが、次にその印紙消殺の方法が見当つかない。前島は銅版師に、貼ると同時に模様の消える切手の製造を依頼したが、当然むりで、次には、紙屋に要請し、弱い紙質で一度貼ったら剥がせない印紙を考案させ、ようやく切手の使

用が開始できたという。すべてが未知なものへの直面であった時代の苦しみが、伝ってくる思いである。

さて、前島密は、越後高田藩士の出で蘭学・英学を学び、薩摩藩や幕府の英学教師を歴任、のち東京専門学校（早大）の校長も務めた明治の逸材であった。明治維新が成って、新成日本の首都の選定を大久保利通が中心になって検討し、ほぼ大阪に決まった。それが一転江戸に変更されたのは、大久保の居宅への匿名の投げ文で（後年、前島の建白であったことが知れた）、そこに展開された江戸遷都の優位さの論拠が大久保を動かしたものだそう（司馬遼太郎「歴史を紀行する」）。匿名の投書で政策を決定する程、危機意識や緊張感が充溢していた時代であったのだろう。

ともあれ、前島の進言がなければ、いま東京はどうなっていたのか、という思いにかられ、このシリーズ第一回目に彼の事績の一端を紹介することにした。

<関係文献>（現在入手可能なもの）

小田岳夫著 「前島密」

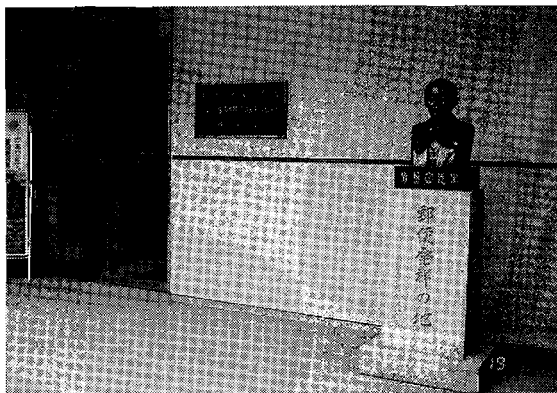
1986年刊 （東京事業教育振興会）

橋本輝夫編著 「日本郵便の歴史」

1986年刊 （青冬社）

小林正義著 「郵便史話」（ぎょうせい）

洋書には適当なものが見出せなかった。



日本橋郵便局にある前島密の胸像と「郵便発祥の地」碑



江戸橋を覆う首都高速とあふれる自動車

海外ニュース

「ケンブリッジとチェンバースの ジョイント解消」

Cambridge University Press と W&R Chambers Ltd. は、約 2 年前（'88 年 8 月）に Chambers-Cambridge というインプリントで辞書、事典類の共同出版を行うことを発表した。このほど、英国では 3 月 31 日、米国では 6 月 30 日をもってこれを打ち切ることになった。

これまで Chambers-Cambridge の名を冠して売られていた "Dictionary of Science and Technology"、"Word Gazetteer"、"Dictionary of Science" は、今後北米では Cambridge の名で売られるが、その他の国々では Chambers のインプリントとなる。

なお、ジョイントで企画されていた百科事典は、ケンブリッジが著作権を保有し "The Cambridge Encyclopedia" となる。

なお、このジョイント解消の原因は、1989 年に Chambers 社がフランスの大手で、レファレンスの出版にも強い Group de la Cité に買収されてしまったことにある。

（BP レポート、2 月 5 日号より）

「ガリマール社の危機」

Hachette, Group de la Cité に次ぐフランス第三位の大手 Gallimard 社が、今や存続を危ぶまれている。同社は、今ではフランスでも珍しい家族経営の会社だが、その経営者ファミリーの内紛が今度の危機の最大の原因であるらしい。

社主フランソワーズ・ガリマールは、ニューヨークの投資銀行、Henry Ansbacher にガリマール社の売り値を見積らせた。その見積額は 18 億フランで、大方の予想をかなり上回っている。すでにヨーロッパでは、ロバート・マックスウェルやルパート・マードックなどが買い手として名乗りをあげているとのこと。

なお、同社の 1988 年の売上高は 10 億フランで 2 千万フランの利益をあげている。1989 年は、それより約 5% の成長をとげた模様。（The Bookseller、2 月 16 日号より）

— 柳屋伊國書店提供 —

お知らせ

株式会社トッパンでは関野元氏が代表取締役、吉川直身氏が常務取締役に、由里洋氏が取締役に就任されました。

OECD 経済協力開発機構東京広報センター所長に天野之弥氏が就任されました。

インターナショナル・ラーニング・システムズ（ジャパン）リミテッド（ILS 社）の英語教材販売業務が下記メイナード出版株式会社に移行され、同社が ILS 社に替って洋書輸入協会の正会員になりました。

メイナード出版株式会社 代表者 大福 守

〒169 東京都新宿区高田馬場 2-18-6 柳屋ビル 6F

電話 (03) 232-3611

FAX (03) 232-3805

計 報

アカデミア洋書株式会社 代表取締役 中井喜代治氏は、肝臓癌のため 1 月 29 日逝去されました。享年 81 歳。葬儀は 1 月 31 日真浄寺においてとり行われ、協会員多数が参列しました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

CASSELL and The Publishers Association DIRECTORY OF PUBLISHING 1990

The Directory of Publishing, now in its fifteenth edition, is the essential directory of the UK and Commonwealth Book Trade. The 1990 edition has been completely revised and updated and gives comprehensive profiles on:

- ▶ more than 1,100 publishers from 19 countries
- ▶ over 100 authors' agents from 5 countries
- ▶ more than 50 packagers
- ▶ almost 200 Book Trade Associations
- ▶ services to the trade featured in detail

Extensive cross-referenced indexes give rapid access to all information and include – named key personnel – publishers' fields of activity – who owns whom – companies and imprints – ISBN prefixes – overseas representation.

"A very useful reference book of English Language Publishers"

Junichiro Minagawa
Harcourt Brace Jovanovich Japan, Inc.

Available now Paperback 396 pages 0 304 31887 6 £27.50

NEW SUPPLEMENT!

INDEX ISLAMICUS 1981-1985

Current Books, Articles and Papers on Islamic Subjects
Compiled by G.J. Roper at the University Library, Cambridge

Founded in 1958 by J.D. Pearson, **Index Islamicus** lists, under subject headings, monographs and articles in collective publications on Islamic subjects. The 1981-1985 supplement lists some 30,000 items drawn from about 1,100 sources published in all the main European languages, including Russian. Monograph entries have fuller annotations than in previous supplements, and there is expanded coverage of South and South-East Asia. For the first time, a subject index is included.

Mansell Late 1990 24 x 16cm cased 2 parts ISBN 0 7201 2009 8 £100.00

SPECIAL OFFER!

For a limited period only – until 30 June 1990 – published volumes of **Index Islamicus** are available, as a complete set, at half price:

Index Islamicus 1906-1955
1958, 933pp, ISBN 0 7201 0380 0

Index Islamicus 1961-1965
1967, 372pp, ISBN 0 7201 0382 7

Index Islamicus 1971-1975
1977, 472pp, ISBN 0 7201 0639 7

Index Islamicus 1956-1960
1962, 344pp, ISBN 0 7201 0381 9

Index Islamicus 1966-1970
1972, 420pp, ISBN 0 7201 0282 0

Index Islamicus 1976-1980
1983, 2 parts, 944pp, ISBN 0 7201 1650 3

Full list price for the complete set: ~~£322.00~~
Special offer price: £160.00

ORDERS TO:

Catherine Johnston, Cassell plc, Villiers House,
41-47 Strand, London WC2N 5JE, England



1990年3月 通巻第275号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目21番4号 千代田会館5階20号室 ☎271-6901 FAX.271-6920

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎371-5329